

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

岩手県地域セミナー 報告書

2019（令和元）年8月26日（月）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」岩手県地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方17名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年8月26日（月）13時30分～16時30分

会場：県営武道館

主催：岩手県教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：17名

プログラム：

13:30～13:40 開会挨拶

岩手県教育委員会事務局 保健体育課

総括課長 清川 義彦 氏

13:40～14:30 オリンピック・パラリンピック教育とその進め方

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

主幹研究員 吉永 武史 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

14:30～15:10 質疑応答及びグループワーク

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20 パラリンピック競技体験（ボッチャ、ゴールボール）

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課

主査 佐藤 慎二 氏

16:20～16:30 連絡・アンケート記入

開会行事では、岩手県教育委員会の清川氏より挨拶がありました。岩手県では、9月にラグビーワールドカップの試合が釜石市のスタジアムで開催されることもあり、県民のスポーツへの興味・関心が高まってきており、オリンピック・パラリンピック教育も益々充実した実践を行っていただくことを期待している、と抱負を述べられました。

次に、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの吉永主幹研究員より、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の事業概要に関する説明がありました。本事業が、2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会に向けて国民の機運醸成に留まらず、スポーツの価値の学習を通じた関心・意欲の向上やパラリンピックスポーツについての学習を通じた共生社会の実現等を目的としていることを説明されました。また、スポーツ庁と大学だけでなく、大会組織委員会や日本オリンピック委員会等の関連団体と連携をとりながら進めていることについても説明されました。



清川氏の挨拶



吉永主幹研究員の講義

さらに、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの岡田研究員より、オリンピック・パラリンピック教育の実践事例についての紹介がありました。アスリートの講演や実技指導の場面の工夫、様々な教科と関連づけた取組、さらには運動会・体育祭や文化祭等の学校行事と関連付けた取組等を紹介されました。また、講義後には、校種ごとにグループに分かれて実践計画についての検討会が行われました。

休憩の後、スポーツ振興課の佐藤氏の指導のもと、ボッチャとゴールボールのパラリンピック競技体験が行われました。それぞれの種目のルールや道具の説明を行った後に、実際にグループに分かれて体験会を行いました。参加されたほとんどの先生方が初めてボッチャやゴールボールを体験するということでしたが、短い時間の練習の中でも少しずつコツをつかんでうまくなって喜んでいる様子が見られました。さらに、実際に児童・生徒に指導をする場面を想定して、どんな工夫ができるのか、ということ話を合っているグループも見られ、先生方にとってとても有意義な時間になっていました。体験会後には、学校でやってみたいという声も聞かれました。



グループワーク



佐藤氏によるルール説明



ボッチャ体験



ゴールボール体験